## 表現環の構造について

# 東京教育大学大学院 岩田惠司

FE有限群とし RE Deckend domain とする。以後 RF-加群については R-加群として 有限主成、toram few Istのだけを扱う。 RG-加群 M.N. について、MRN は Gの作用を g(mのれ)=gmのgれ、geG、me H. Me N とすることにより RG-加群になる、これを MON と書く。 人工加群の同型類を []を付して表いす。いす RG-加群の同型類を 生成示とし、基本関係 了 [M]=[M]+[M]] | H ≃ M → M"] で注義される アールル群は 足に [M][N]=[MのN]と定義することにより環の構造をもつ、これを群分の (R上の) 表現環といい a(RG) で表かす。 C-algeba Cのa(RG) を A(RG)で表かす。 表現環の構造については Lam, Green, Conlon、等によりいくっかの結果が得られているか、それらの概略を ここに紹介する。

\$ 1

本節を頂して、Ris complete discrete valuation ring とし、Pをその極大イデアル、R=BP、P=chan R、とする。Gの部分群 H、K について、もし  $\alpha^{-1}K\alpha \subseteq H$  ( $^3\alpha \in G$ ) ならば このとう  $K \subseteq H$  と表的す。 RH-加群 L に対して RG-加群 RG-加群 RG-加群 RG-加科 E  $L^G$  で表的すことにする。

定義。 G の部分群 D について、 M | G 、 L: RD-module, な 群 な [MJ で生成される Q(RG) の加法 射部分群 は、 更に Q(RG) の f で ル に なる。 に な g Q(RG) で 表 ゆ し 、 ス そ g Q(RG) で 表 ゆ し 、 ア を g Q(RG) で 表 ゆ す で え そ れ が を そ で 長 表 大 す で 仔 表 振 大 し た も か を そ い ぞ れ g Ap(RG)、 g Q Q (RG) と する。

## 定理 [1] (Green [2])

Wo(RG) ~ Wo(RNO)): ung isomorphic (::ル NO)はDのGにおける正規化群)

証明は自略するが ここでの同型対応は t(EMI)=EMIで注義される transfer map,  $t: A(R:N(D)) \longrightarrow A(R:G)$ から自然に誘導された対応で与えるれる。

过意. Drp-部分群でない場合はWp(RG)=0

#### 神월 [2]

 $F(EMJ) = [RGR_G M]$  1.1, 7 定義さい3 目然5 準 同型  $F: A(RG) \longrightarrow A(RG) \in \mathbb{R}$   $\mathbb{R}$   $\mathbb{R}$ 

とイデアル分解される。

JGA IJ AH(RG) o idempotent generator I ある。 証明 RII ABBI 閉じている、と何定してよい。 証明には入る方にかし準備をしておく。尼か氏敷的に閉じているから、Go representation group 命が存在して、Go上のすべての twisted group algebra は RGの西側行アルとして実現される。そこでいすその分解を

が引き起きいる。、又、原命 A Cartan matrix が non-singlac であることより  $f_i$ :  $A_{i0}$  ( $B_i$ )  $\Longrightarrow$   $G_o(B_i)$ : C-isomorphic. と  $f_i$ 3 。  $B_o$ ,  $B_i$  - 加鮮 M. N は 日 定 I: RG - ID 起 と I れ る IM が、 RG - ID 起 と IM が IM IM が I

absolutely indecomposable RH-10 £ 1 1

LのGにおける stabilisen ES, 了[M]  $\in$  A(RG)  $\mid$  M  $\mid$  G  $\mid$  T生成された  $A_H(RG)$  の C-subspace  $\notin$  A(LG) とすると、 計算は有略するか、名の尼上の twisted group algebra  $B_L$  と C-linear homomorphism  $F_L: A_H(RG) = \bigoplus_L A(LG)$   $\longrightarrow$   $A_{(1)}(B_L)$  が構成され、次の条件を消走する。

た:  $A(L^G) \xrightarrow{\sim} A_{(I)}(B_L)$ . C- womorphic.  $E(xy) = E(x) F_{1_H}(y)$ ,  $f_{\alpha} \in A_H(R^G)$ ,  $f_{\beta} \in A_{(I)}(R^G)$ ) 従って  $f_{\alpha} \in A(L^G)$  について.

$$F_{L}(x)J_{g_{H}}) = F_{L}(x)F_{1_{H}}(J_{g_{H}})$$

$$= F_{L}(x)J_{g_{H}}$$

$$= F_{L}(x)$$

txic xJg = x

(QED)

以上の結果にもとすいて次の主理が平かれる。

<u>定理[1] ((onlon [3])</u>

牙の部分群りについて

Ao(RG) ←A(RG)

 $A_{p}(RG) = A'_{p}(RG) \oplus A''_{p}(RG)$ ,  $A''_{p}(RG) \cong W_{p}(RG)$  $\vdots \lor A'_{p}(RG) = \sum_{p' < p} A_{p'}(RG)$ 

証明 |D=1 のときは証明されている。 |D| に関する 帰納法で証明する。帰納法の仮定により A6(RG) ◆A(RG) 従って補拠[3] により D4G の場合について证明すればよい

\$ 2

RIJSI と同じ (complete discrete valuation ring とする。::7:13 a(RG)の silpotent element について調べる。 DOG とし、HEDE含むGの部分群とする。

inclusion map in  $H \hookrightarrow G$  IJ

ring from.  $i_{H}^{*}$   $G_{o}(R^{*}) \longrightarrow G_{o}(R^{*})$ 

 $I_H^* : a_p(RG) \longrightarrow a_p(RH)$ 

add. hom.  $i_{*H}: G_o(R.\%) \longrightarrow G_o(R.\%)$ 

 $I_{*H}: Q_0(RH) \longrightarrow Q_0(RG)$ 

#### 超出

 $L = \int subgroup H of G \mid H > D$ . Ho. Lychic  $\int \xi + \delta$   $\xi + \delta$ 

$$[G:D]^{2}X = [G:D]^{2} \cdot 1_{G_{0}}X , \quad 1_{G_{0}}(R^{*})O^{*}[\widehat{L}\widehat{L}]$$

$$= \sum_{i} a_{j} i_{i}H_{j}(Y_{j})X$$

$$= H_{j} \in \Delta, \quad Y_{j} \in G_{0}(R^{*}H_{j})$$

$$= a_{j} : integer$$

$$= \sum_{i} a_{j} I_{kH_{j}}(Y_{j} I_{H_{j}}^{*}(X))$$

$$= 0$$

征, 2 X=0

(Q,E,D)

# <u>注册</u> [6] (Lam [\$])

アの条件を満足する Gの部分群日のオヤマガラ或る集合を 型とする. H(P) H, H(P) . uyclic ここに H(P): p-Sylow sub-group of H もし至がHに対して Q(RH) が O以外の nilpotent element をもたちいたらけ、 Q(RG) も non-zere nil。el、を持たない。 証明 IGI=1 のときは明らか。IGIに関する帰納法で 証明する。 Dを Gの任意の p-部分解とする。もし D&G なら帰郷法の協定により Q(R·N(D)) は non-zero nil。ele、 を持たない、後、て Wo(RG) (を Wo(R·N(D))) も non-zero nil。ele、をもたない。 D Q G の場合は bH EA とすると D C H(P) C H、 16. cyclic 、後、て H E を ならり Q(RH) は non-zero nil。el、をもたない。 従、て神経により、 Q(RG) 故に Wo(RG) も non-zero nil。el、を持たない 。 後、て定理例により示された。 (Q.E.D)

83

本節ではBurnside algelia の分解から誘手された、表現 環のイデアル分解を紹介する。

定義. RG-n群の category  $\in M(RG)$  とし  $L=U_{D=G}M(RD)$  とする。 Mか RD-nの群 Zあることを  $T_{H}=D$  と表くことにする。  $L \ni M$ . M'  $I : > v < M \cong ^2M'$   $\exists x \in G$  のとき  $M \sim M'$  と書き、 肖条  $\sim I : > 3$  M の class  $\in <M > 7$  老的す。 <M > ;  $M \in L$  ご生成された fee abelian group I 生成元の I の I を

<u>定理[7]</u> ((onlon[4])

 $b_p(RG)/b_p(RG)$   $\xrightarrow{\sim} b_p(R.N(D))/b_p(R.N(D))$ : ring isomorphic

記明 co(RG) → bo(RN(D)) から請乗された additive hom. )\* bo(RG)(KG) → bo(RN(D)) たついて、
1\*17 base E base に対応させているから additive isom.

「かも M. M' E MI(RD) について

 $< M > < M > = \sum_{\text{DIDCG}} < M / 8^{2} M >$   $= \sum_{\text{DIDCN(D)}} < M / 8^{2} M > \mod b_{p}(RG)$ 

徒,2 Pt: ring isomorphism

(Q.E.D)

$$M \in \mathbb{L} \quad \forall \beta \beta \beta \beta, \quad \mathbb{I}_{M} = S, \quad \mathcal{U}_{S} = [N(S), S] \quad \forall \beta \delta \delta \delta,$$

$$<1_{S} > \zeta M > = \sum_{S \neq S \subseteq S} (S) < 1_{S} \otimes M > \mod b_{D}(PG)$$

$$= \sum_{S \neq S \subseteq S} (N(S)) < 1_{S} \otimes M > \mod b_{D}(PG)$$

 $\equiv 1/3 < H7 \mod l_p'(RG)$ 

これに注意して IDIに関する帰納法により活の定理が証明される。

<u> 注理[8]</u> ((onlon[4])

Bo(RG) is B(RG) のイデアル因子である。

#I: Burnside alg is 
$$|B_{p}(RG)| = |B_{p}(RG)| + |B_{p}(RG)| |B_{p}(R$$

(証明略)

いす自然に algelia epimorphism 中: B(RG) → A(RG) が構成されるか、そこで、

 $A_{\rm D}^{*}(RG) = \Psi(B_{\rm D}(RG))$ ,  $A_{\rm D}^{*}(RG) = \Psi(B_{\rm D}(RG))$  と 古く。 このとき 次 か 成 立 する。

定理[9] ((onlon(4))

$$A_{D}^{*}(RG) = A_{D}^{*}(RG) \oplus A_{D}^{*}(RG)$$

$$A_{D}^{*}(RG) \oplus A_{D}^{*}(RG) \cong A_{D}^{*}(RG) \cong A_{D}^{*}(RG) \cong A_{D}^{*}(RG)$$

$$A(RG) = \bigoplus_{D \leq G} A_{D}^{*}(RG)$$

#### 証明

## 文献

- 17] C. W. Curtis and I Reiner; Representation theory of finite groups and associative algebras (Interscience 1962)
- [2] J. A. Green; A transfer theorem for modular representations (J of Aly 1 (1964))
- [3] S. B. (onlon; Relative components of Representations (J. Alg. 8 (1968))
- [4] S. B. Conlon; Decompositions induced from the Burnside algebra (J. Alg 10 (1968))
- [5] I. Y. Lam: A theorem on Green's modular representation (J Alg. (1976))